



十人十色

合志市立合志南小学校
学校だより 第22号
令和3年3月24日
文責 校長 松原 弘治

令和2年度も大変ありがとうございました。

昨年の4月9日(木)に163人の新入生を迎え、全学年での新年度をスタートしたかったのですが、大変残念ながら、その後は臨時休校等が続き、6月から、やっと全員そろっての学校生活ができるようになりました。しかしながら、その後も、感染防止対策を踏まえた学校生活をせざるを得ない状況が最後まで続きました。

そのような中、昨日は素晴らしい晴天に恵まれ、卒業証書授与式を行うことができました。昨年度は時間の制限もあり、学級代表のみへ卒業証書を授与しましたが、昨日は卒業生一人一人に渡すことができ、大変嬉しく思いました。私ごとですが、今年度末で定年退職を迎えることになり、とても思い出深い卒業式を、卒業生や保護者の皆様と祝うことができたことを、大変ありがたく思っています。これまで本校教育へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



5年生が6年生の各教室を飾ってくれました。

「学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。



先日、別紙にてお知らせしましたとおり、項目の多くで平均3.0を上回る評価をいただき大変ありがたく思っています。しかしながら、学校全体で取り組んできた南っ子「3つの合言葉」+1の中で、残念ながら、「笑顔であいさつ」と「時間を守る」が2.9という結果となりました。

このことを踏まえて、本日の修了式でも、校内放送を通して、再度、合言葉の確認を行ったところです。ご家庭でも今一度、あいさつの大切さ等について話題にいただければ幸いです。

「誰かのためにも時間を使ってほしい。」日野原 重明 先生より

今年度の最後の「いのちの日」のお話を私が担当しました。その中で、6年生が国語科の「君たちに伝えたいこと」でも学習している、日野原先生が残されたお言葉の中から、「誰かのためにも時間を使う」ことの大切さなどを、子どもたちに伝えました。すると先日、そらのまち公園で、3・4年生の4人の子どもたちが、自分たちで塵拾いをしてくれたとの連絡を管理事務所から受け、大変嬉しく思いました。これかも、今回のような嬉しい連絡が入ることを楽しみにしています。



日野原 重明 先生